Johoku Business Report

2023年10～12月　城北しんきん地域景況調査

No.81



CONTENTS

p.1 ..... 概況

p.3 ..... 業種別

p.9 ..... 特別調査
［2024年（令和6年）の経営見通し］

p.11 .. NACORD
［和以美株式会社様］

夢をかなえるパートナー

城北信用金庫

Johoku Shinkin

概 況

■ 全業種の業況

業況 DI は前期から１ポイント改善して△２となりました。仕入価格 DI は１ポイント下降し、４７となりました。来期も下降を見込みますが、依然高い水準となる見通しです。

	前　期	**今　期**	来期
業　　況ＤＩ	△ 3 ↗	△ **2** ↗	△ 1 ↗
売 上 額ＤＩ	5 ↗	**7** ↗	9 ↗
収　　益ＤＩ	△ 3 ↗	△ **2** ↗	0 ↗
仕入・原材料価格ＤＩ	48 ↘	**47** ↘	40 ↘
販売・請負価格ＤＩ	25 ↘	**27** ↗	23 ↘
在　　庫ＤＩ	△ 1 ↗	△ **2** ↘	△ 2 →
設備投資を実施した企業の割合	6.5% ↘	**6.8%** ↗	9.1% ↗

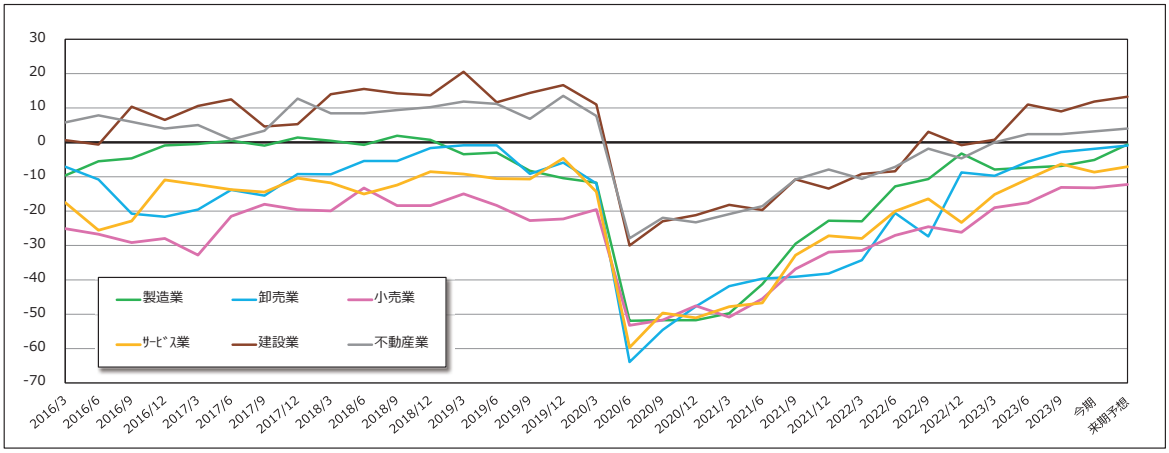
■ 業種／地域別天気図

建設業・不動産業では好調が続いており、来期も同様の見通しです。

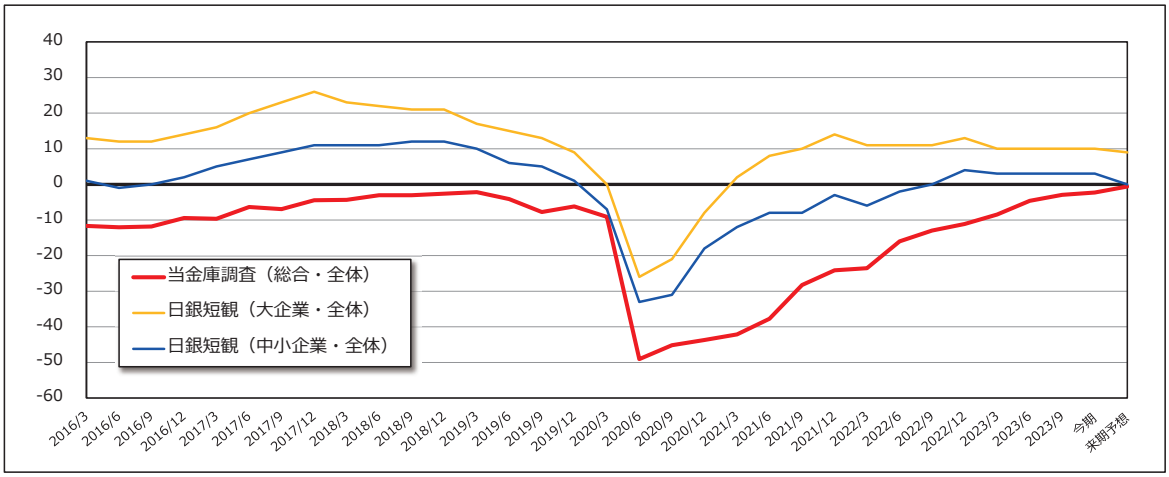
	前　期 2023 年 7～9 月期	今　期 2023 年 10～12 月期			来　期 2024 年 1～3 月期
		全体	都内	埼玉	
総　　合					
製　造　業					
卸　売　業					
小　売　業					
サービス業					
建　設　業					
不 動 産 業					

この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成したものです。

好調 ← → 不調



■ 日銀短観と当金庫調査の業況ＤＩの推移



調　査　先		2023年9月調査	**2023年12月調査**	2024年3月予想
製造業	短観・大　企　業	9 ↗	**12** ↗	8 ↘
	短観・中堅企業	0 →	**5** ↗	4 ↘
	短観・中小企業	△5 →	**1** ↗	△1 ↘
	当金庫調査先	△7 →	**△5** ↗	△1 ↗
非製造業	短観・大　企　業	27 ↗	**30** ↗	24 ↘
	短観・中堅企業	19 ↗	**20** ↗	14 ↘
	短観・中小企業	12 ↗	**14** ↗	7 ↘
	当金庫調査先	△2 ↗	**△2** →	△1 ↗

調査要領

調査方法：東京都城北地区および埼玉県南部のお取引先を中心に、職員が訪問する面接聞き取り方式によって調査しています。なお、この調査は３か月ごとに継続実施しています。

調査時期：2023年10～12月期を対象に、11月中旬～下旬に実施しました。

分析方法：各項目において「ＤＩ（ディフュージョン・インデックス）」を算出しています。「ＤＩ」とは、「良い（または増加・上昇）」などの回答割合から、「悪い（または減少・下降）」などの回答割合を差し引いた値によって、景気や価格などの方向性を把握する指標です。

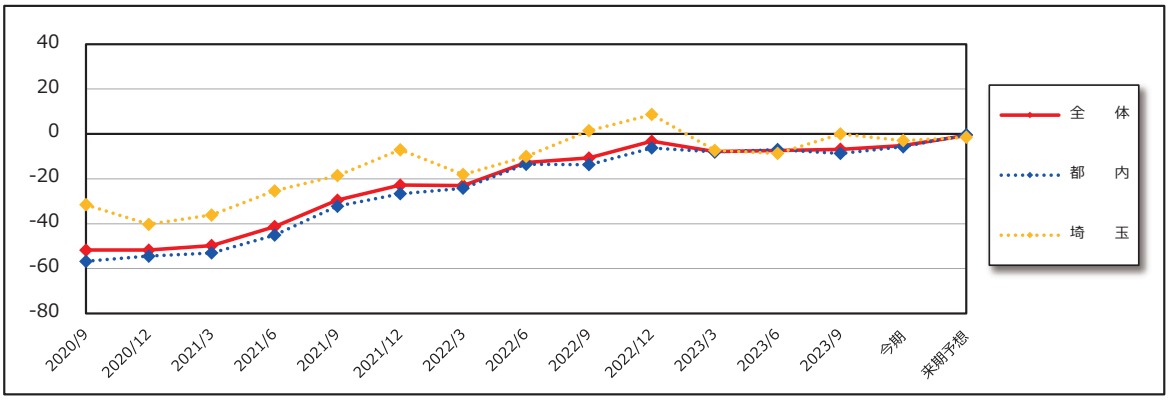
	全業種	製造業	卸売業	小売業	ｻｰﾋﾞｽ業	建設業	不動産業
調査先数	**1,056**	336	106	216	129	144	125
回答数	**1,044**	332	106	212	127	143	124
回答率	**98.8**	98.8	100.0	98.1	98.4	99.3	99.2

製造業



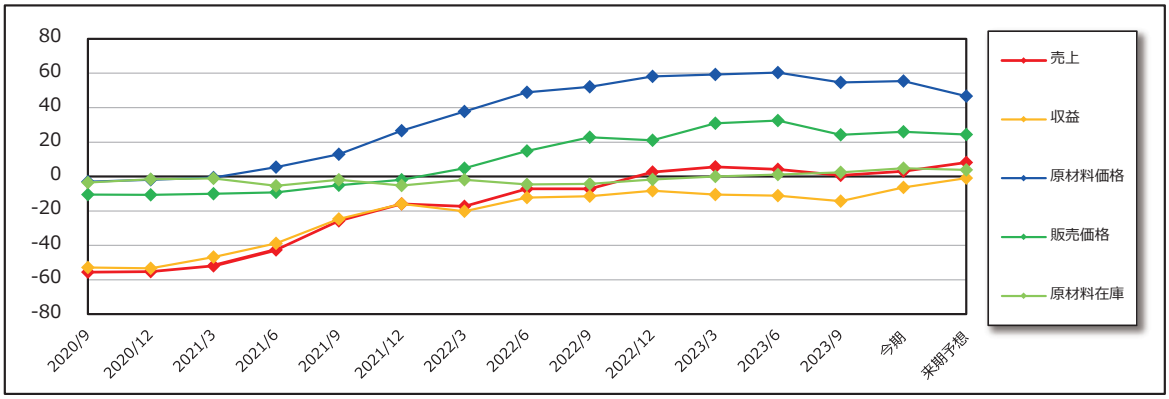
■ 業況ＤＩの推移

埼玉では下落した一方、都内では回復し、全体では前期並みとなりました。



■ 各種ＤＩの推移

原材料価格 DI は前期並みで、依然として高い水準となっています。



■ 経営上の問題点・当面の重点施策（複数回答）

	経営上の問題点			当面の重点施策		
1 位	原材料高	45.4%	(前期 1 位)	販路を広げる	55.7%	(前期 2 位)
2 位	売上の停滞・減少	31.0%	(同 2 位)	経費を節減する	51.5%	(同 1 位)
3 位	同業者間の競争の激化	19.5%	(同 3 位)	情報力を強化する	14.7%	(同 3 位)

■ お客さまの声、調査員のコメント

＊業況は順調だが、中国製の製品が台頭してきており影響が出ている。

《電気機械器具、北区》

＊ホームページや EC サイトを改良した結果、新規顧客の獲得に成果が出始めている。

《家具、足立区》

＊売上は回復し黒字化したが、人手不足が課題であり解決は困難だと感じている。

《自動制御盤、足立区》

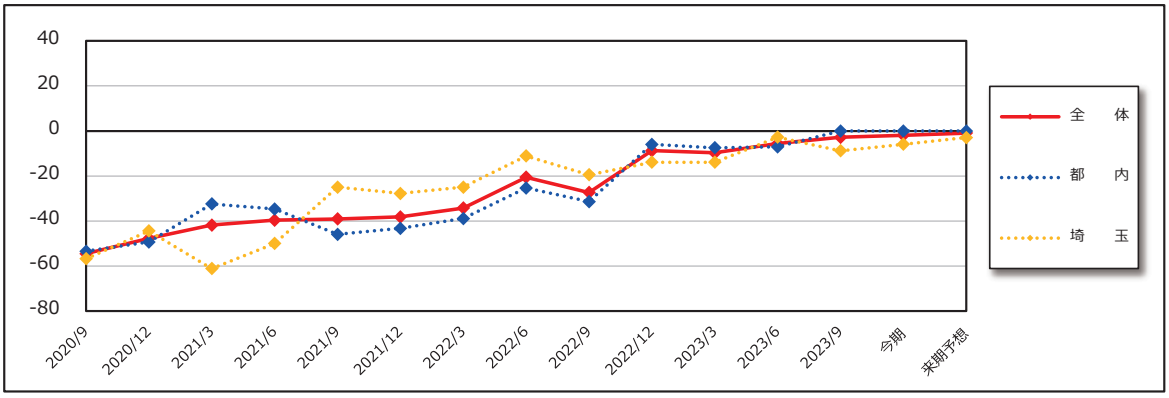
＊仕入価格の高騰が続き、利幅の減少が続いている。

《金属プレス加工、葛飾区》

卸売業

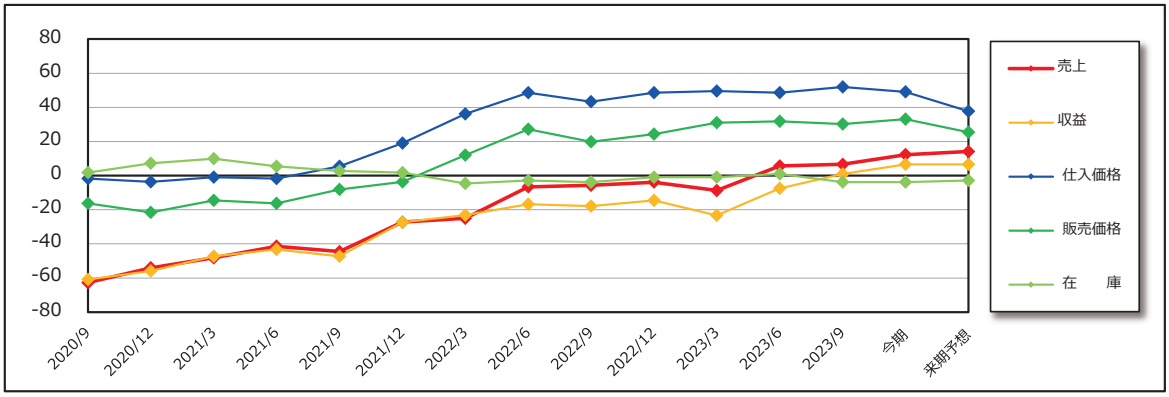
■ 業況ＤＩの推移

全体では前期並みとなりました。埼玉では来期も改善する見通しです。



■ 各種ＤＩの推移

売上 DI・収益 DI・販売価格 DI が上昇しました。



■ 経営上の問題点・当面の重点施策（複数回答）

	経営上の問題点			当面の重点施策		
1 位	売上の停滞・減少	32.0%	(前期 1 位)	販路を広げる	56.6%	(前期 1 位)
2 位	同業者間の競争の激化	27.3%	(同 2 位)	経費を節減する	39.6%	(同 2 位)
3 位	利幅の縮小	17.9%	(同 3 位)	情報力を強化する	15.0%	(同 4 位)

■ お客さまの声、調査員のコメント

＊輸入品が商品の７割を占めているため、円安による利幅縮小が著しい。

《スポーツ用品、荒川区》

＊仕入価格が高止まりしており、業況は厳しい。

《娯楽用品、足立区》

＊少額の取引が増加傾向にある。経費削減に努めている。

《機械工具、足立区》

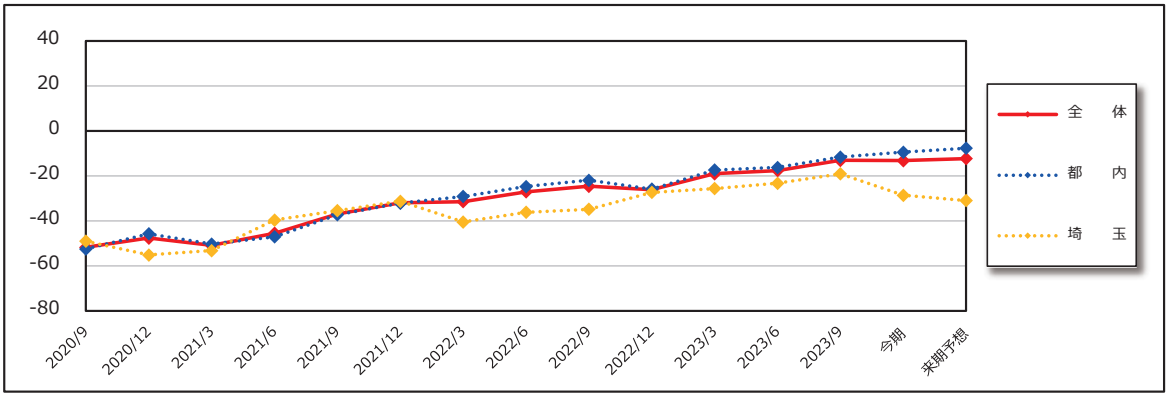
＊売上はコロナ前の水準に戻ったが、材料費高騰により利益は減少している。

《食品加工、草加市》

小売業

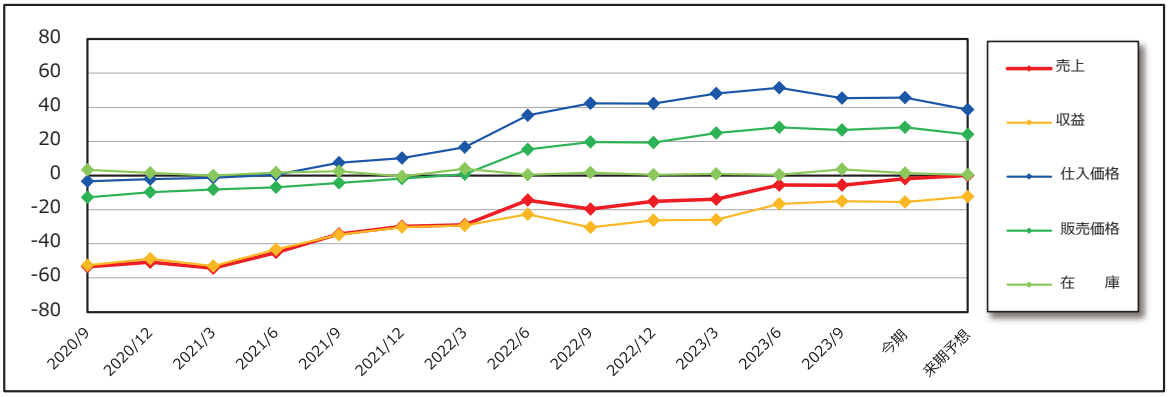
■ 業況ＤＩの推移

埼玉では大きく下落した一方、都内では改善し、地域差が広がりました。



■ 各種ＤＩの推移

いずれも前期並みの水準となりましたが、埼玉では収益 DI が下落しました。



■ 経営上の問題点・当面の重点施策（複数回答）

	経営上の問題点			当面の重点施策		
1 位	売上の停滞・減少	33.9%	（前期 1 位）	経費を節減する	45.2%	（前期 1 位）
2 位	大型店との競争の激化	20.2%	（同 4 位）	品揃えを改善する	26.8%	（同 2 位）
3 位	仕入先からの値上げ要請	17.9%	（同 3 位）	宣伝･広告を強化する	18.4%	（同 3 位）

■ お客さまの声、調査員のコメント

＊人手不足が業況に悪影響を及ぼしている。

《婦人服地、荒川区》

＊仕入価格は高騰しているが、販売価格に転嫁できているため業況は順調。

《総菜パン、荒川区》

＊取り扱う機械油の仕入価格は上昇を続けており、利益確保は困難を極めている。

《石油、葛飾区》

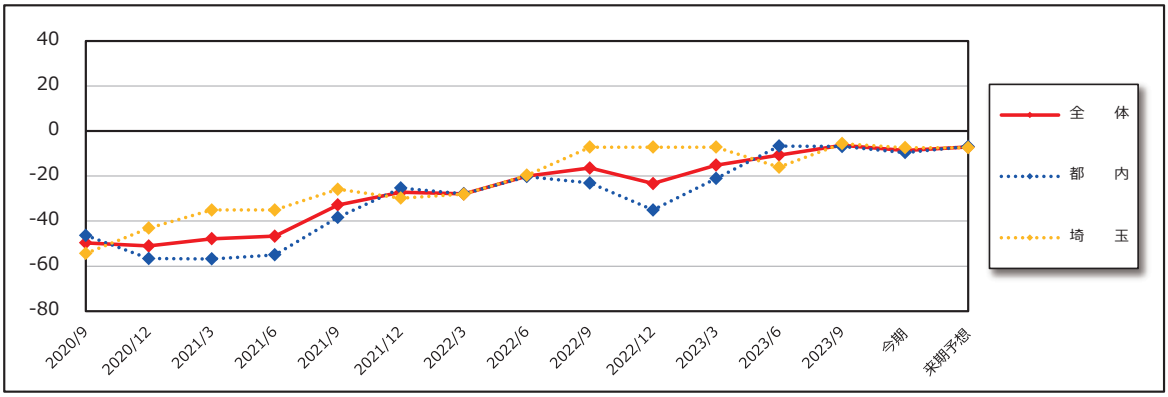
＊コロナ 5 類移行後、地域のイベントが増えて配達の依頼も増えたが、大規模なイベントについては従前の規模には戻っていない。

《酒類、蕨市》

サービス業

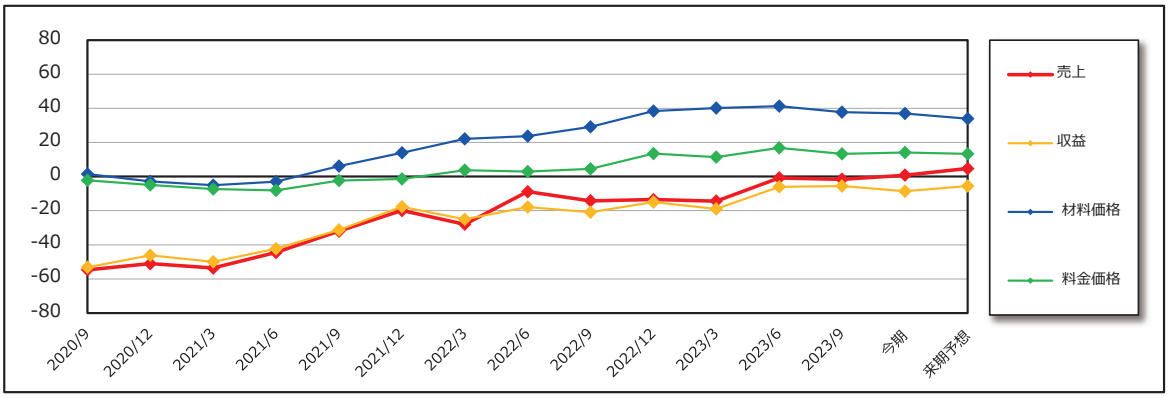
■ 業況ＤＩの推移

埼玉では前期並みとなった一方、都内では下落しました。



■ 各種ＤＩの推移

売上 DI は改善しましたが、収益 DI は下落しました。



■ 経営上の問題点・当面の重点施策（複数回答）

	経営上の問題点			当面の重点施策		
1 位	同業者間の競争の激化	40.1%	(前期 1 位)	経費を節減する	44.0%	(前期 1 位)
2 位	売上の停滞・減少	29.9%	(同 2 位)	販路を広げる	42.5%	(同 2 位)
3 位	材料価格の上昇	17.3%	(同 3 位)	宣伝・広告を強化する	32.2%	(同 3 位)

■ お客さまの声、調査員のコメント

＊売上減少傾向。物価高の影響で顧客の財布の紐が堅くなっていると感じる。

《美容業、北区》

＊コロナの影響は解消された。訪日客の利用で業況は安定している。

《旅館、台東区》

＊今年は例年より暖かく、クリーニングに出される量が減っているため売上は減少している。

《クリーニング、川口市》

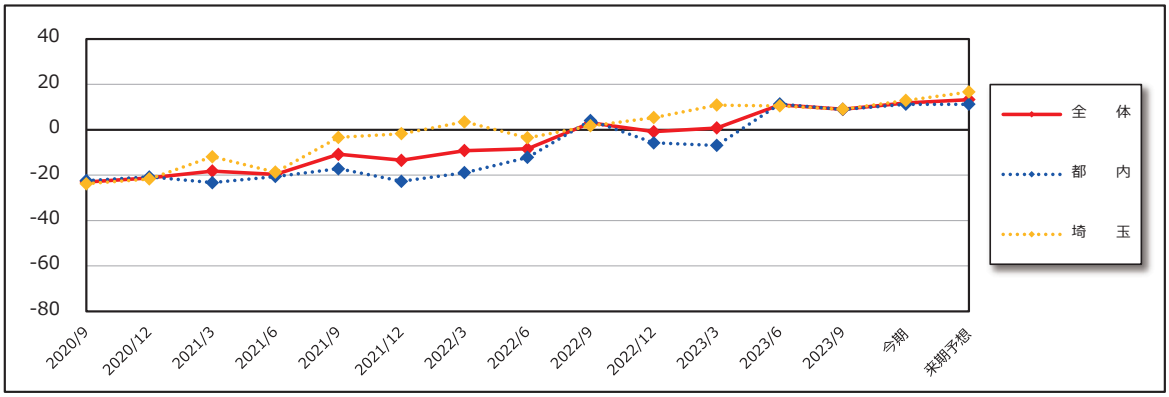
＊修理に使う部品などの値上がりが続いており、利益率に影響している。

《自動車整備、戸田市》

建設業

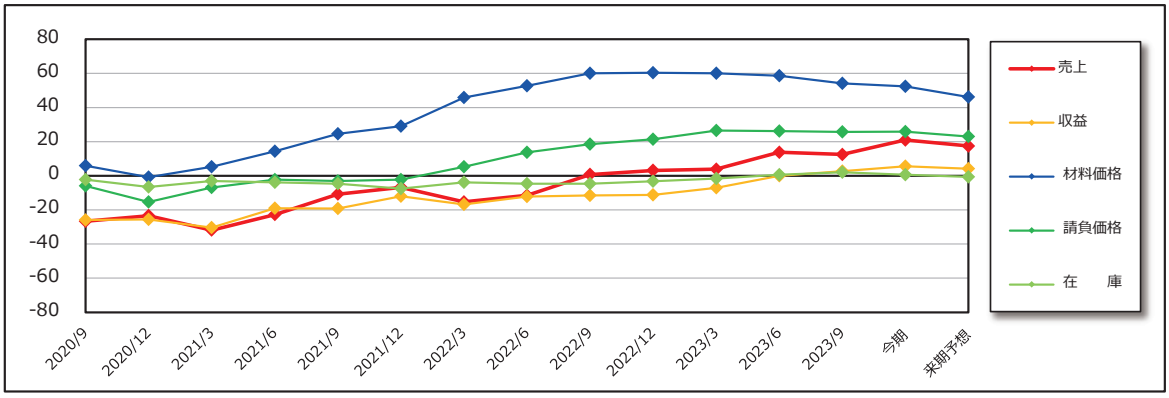
■ 業況ＤＩの推移

都内では前期並みでしたが埼玉では上昇し、全体でも上昇しました。



■ 各種ＤＩの推移

売上 DI が上昇し、特に埼玉では大きく改善しました。



■ 経営上の問題点・当面の重点施策（複数回答）

	経営上の問題点			当面の重点施策		
1 位	材料価格の上昇	46.8%	(前期 1 位)	経費を節減する	43.3%	(前期 1 位)
2 位	同業者間の競争の激化	29.3%	(同 2 位)	販路を広げる	41.9%	(同 1 位)
3 位	人手不足	23.0%	(同 4 位)	人材を確保する	30.7%	(同 3 位)

■ お客さまの声、調査員のコメント

＊業況は安定しており現場の数は増えているが、人手不足が目立つ。

《一般住宅建築、北区》

＊資材価格の高騰が著しく、仕入先の見直しが必要だと感じる。

《リフォーム、川口市》

＊官公庁からの受注が増加傾向にあり、業況は回復している。

《上下水道工事、戸田市》

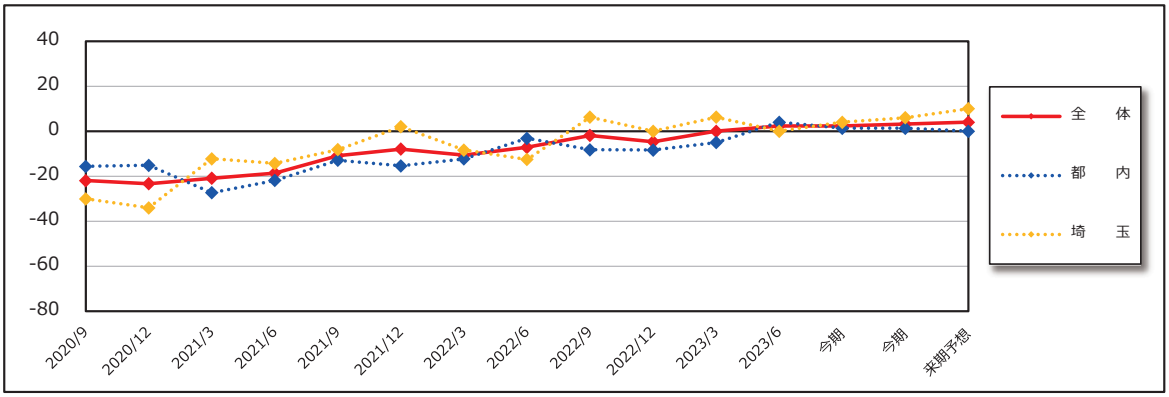
＊受注は増加しているが人手が足りないため、請け負えない現場も発生している状況。

《一般住宅建築、吉川市》

不動産業

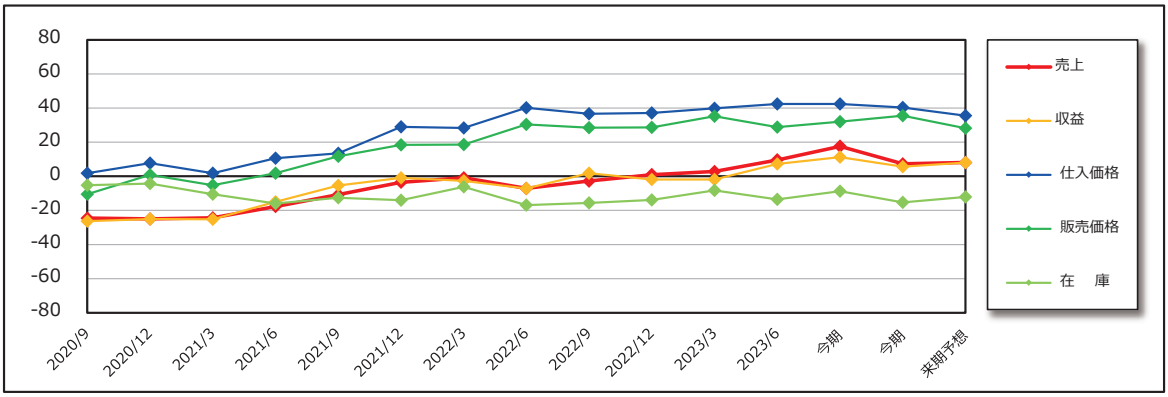
■ 業況ＤＩの推移

都内・埼玉ともに前期並みとなりました。



■ 各種ＤＩの推移

売上 DI・収益 DI が下落しました。販売価格 DI は上昇しました。



■ 経営上の問題点・当面の重点施策（複数回答）

	経営上の問題点			当面の重点施策		
1 位	商品物件の高騰	43.5%	(前期 2 位)	販路を広げる	41.9%	(前期 4 位)
2 位	同業者間の競争の激化	35.4%	(同 1 位)	情報力を強化する	35.4%	(同 1 位)
3 位	商品物件の不足	29.0%	(同 3 位)	宣伝･広告を強化する	33.8%	(同 3 位)

■ お客さまの声、調査員のコメント

＊仕入競争が激化しており、情報の早期取得がカギとなっている。

《不動産販売、葛飾区》

＊地価が毎年上昇しており住宅価格も上昇しているが、市場が好調であるため値上げできる環境にあると感じる。

《不動産売買、板橋区》

＊外国人の物件購入が目立ち、日本人の買い手は減少傾向にある。

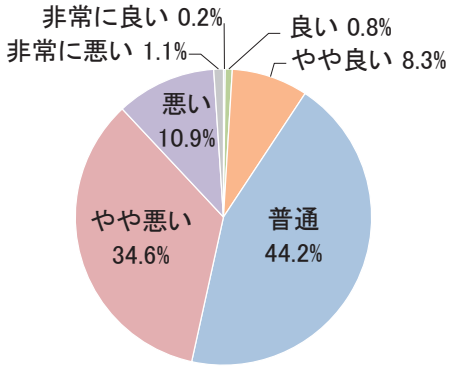
《不動産仲介、草加市》

＊物件の高騰が続いており、買うことができる商品が限られている。

《不動産仲介管理、蕨市》

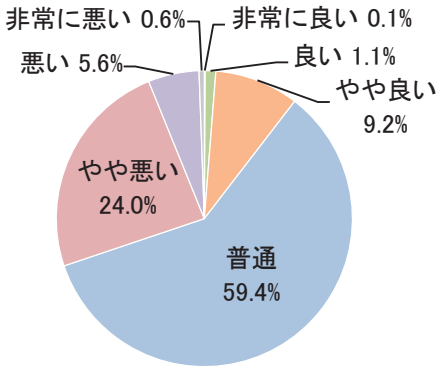
特別調査　2024 年（令和 6 年）の経営見通し

■ 貴社では、2024 年の日本の景気をどのように見通していますか？



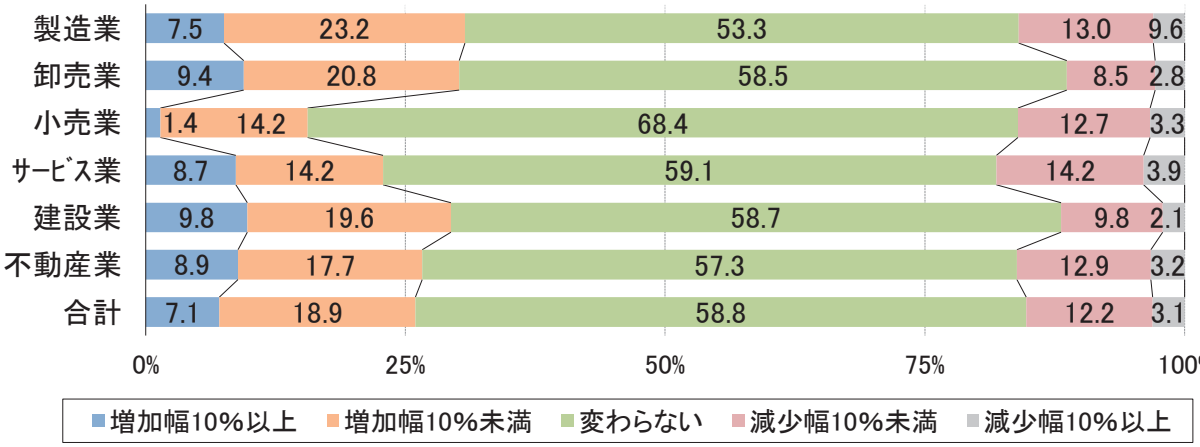
2024 年の日本の景気見通しについては、前年同時期の調査結果と比較して、「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」とする割合の合計が 18.3 ポイント減少し、全体の 46.6%と半数を下回りました。
一方で「普通」とする割合が 14.2 ポイント増加したほか、「やや良い」とする割合も 4.2 ポイント増加しました。1 年前と比較すると、景気に対する見通しは改善しているようです。

■ 貴社では、2024 年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか？



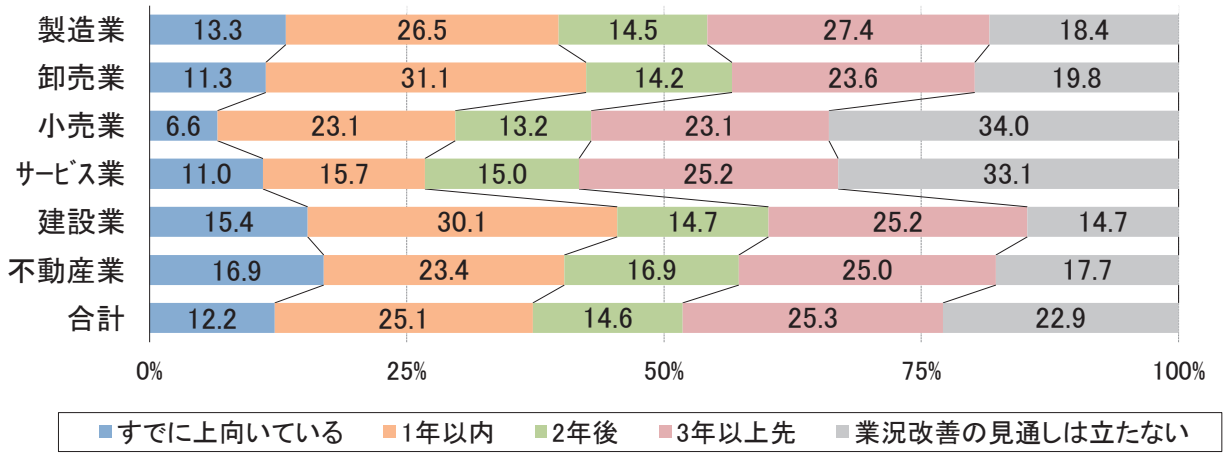
2024 年の自社の業況見通しについては、「普通」とする回答が全体の 59.4%を占めました。
また、業種別に見ると、「やや良い」「良い」「非常に良い」と答えた割合は、製造業（13.6%）、卸売業（11.3%）、建設業（11.2%）で他業種よりも高い結果となりました。
一方で、「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」と答えた割合は、サービス業（37.8%）、小売業（34.4%）で他業種よりも高く、業種によって見通しに差があるようです。

■ 2024 年において貴社の売上額の伸び率は、2023 年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか？



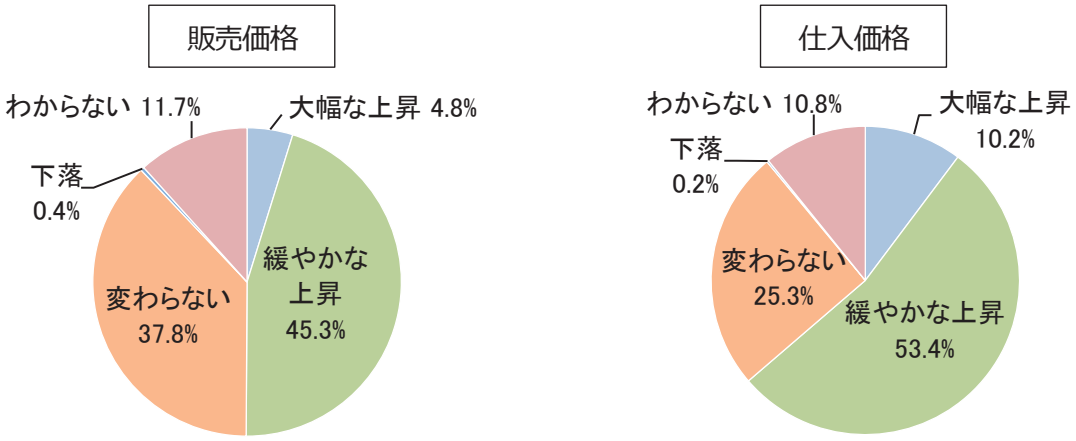
2024 年における自社の売上見通しについて、全体では「変わらない」との回答が最も多く、前年同時期より 7.9 ポイント増加し 58.8%となりました。また、「増加する」との回答は、製造業（30.7%）、卸売業（30.2%）、建設業（29.4%）で高い割合となりました。

■ 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか？



業況が上向く転換点について、「３年以上先」（25.3%）、「１年以内」（25.1%）とする回答が多く寄せられました。一方で「見通しは立たない」（22.9%）とする回答も一定数ありました。
また、業種別に見ると、小売業・サービス業では「見通しは立たない」と回答した割合が他業種よりも高い結果となりました。

■ 近年、販売価格や仕入価格に上昇の傾向がみられますが、2024 年を展望したとき、貴社では価格面の動向をどのように見通していますか？



販売価格については、「大幅な上昇」「緩やかな上昇」との回答が合わせて 50.1%とほぼ半数を占めました。また、「変わらない」との回答は 37.8%でした。
一方で仕入価格については、「大幅な上昇」「緩やかな上昇」との回答が合わせて 63.6%を占めており、6 割以上の事業者が 2024 年も仕入価格は上昇すると見通しているようです。

当金庫では、ウクライナ情勢や原油価格の上昇、コロナ禍による行動変容・人手不足などにより事業に影響を受けられた皆さまからの、各種ご相談を受け付けております。資金繰りのご相談はもちろん、「各種補助金・助成金の活用支援」や「ビジネスマッチング・お取引先の紹介」などにも対応しておりますので、どうぞご利用ください。



ふと目を向けると、商業施設やオフィスなど、身近なあらゆるところに緑が施されていることに気づく。

建物の緑化は環境問題に効果があるのはもちろん、人々の心に癒しと安らぎを与えてくれる。

一方で、課題になっているのが緑の管理。

緑化したはいいが、その後の手入れが大変で枯れてしまう、思った以上に維持費がかかるといった困りごとがあるのが現状だ。



本物そっくりのアーティフィシャルグリーンで空間を彩る

そこで注目されているのが、本物そっくりの“アーティフィシャルグリーン”だ。

いわゆる“造花”のイメージを覆す、間近で見ても本物と見間違えるほどのクオリティ。メンテナンスはほとんど必要なく、インテリアとしても永く楽しめる。
そんなアーティフィシャルグリーンを導入する施設やオフィスが増えてきている。

たとえば、サービス付き高齢者住宅『ハーウィル南浦和ウーデンハウス』は、今まで絵画を飾っていたスペースにアーティフィシャルグリーンを飾り、雰囲気を一新した。

また、株式会社藤島建設 コクーンシティ展示場『家暮 PREMIUM』では、生花をリアルに再現したアーティフィシャルフラワーをインテリアに採用。
近年、日本だけでなく世界でも注目されていて、年々クオリティも向上。
本物との違いは香りがしないことくらいかもしれない。



老舗流通企業がはじめたグリーンの空間プロデュース　『be Greeeeen』
これらのグリーンを中心とする空間プロデュースを手がけているのが、東京都荒川区西日暮里に本社を構え、住宅資材や設備機器を扱う流通企業、和以美株式会社。
創業 90 年、全国 60 カ所の営業拠点を持つ老舗企業だ。

2022 年5 月に『be Greeeeen』事業を立ち上げ、空間に合わせたグリーンのデザイン施工、アレンジメントの提供を担うアーティフィシャルフラワー専門店 Green&Natural Design Studio『be Greeeeen』を本社ビル隣にオープンした。

同業他社でグリーンの提案まで行っている所はほとんど見ないと、代表取締役社長の田中幸治さん（５２歳）は語る。

「今までにないサービスを常に探しています。緑化が流行っているけど、そういえばうちのような業態がお客さまに緑の提案をすることってないよねと思ったんです」



住宅資材を幅広く扱う会社ならではの視点で、グリーンだけでなく水回りやエントランスなど、空間をまるごと提案することもできる。

『be Greeeeen』では展示スペース『KASHIPPA』を無償で貸し出したり、作家を招いてものづくりのワークショップを開催するなど、さまざまな取り組みを通してエンドユーザーや地域住民との交流を図っている。

本物の植物はハードルが高い方に、新たな提案を

田中さんがアーティフィシャルグリーンに興味を持った数年前、さまざまな緑化を見学し、きれいな状態を維持する難しさを目の当たりにした。

「本物の良さは一切否定しません。ただ、現実的にどうしても本物を使うのが難しい人たちがいる。アーティフィシャルグリーンは、そこにお役立ちできる選択肢だと思います」



国内外 600 社以上の仕入れ先との独自のネットワークがあるため、質の高い素材が手に入り、あらゆる要望に対

応できるのが和以美の強みだ。

「僕たちがやっていることは『空間の提案』なんですよね。提案して取付け、施工まで全てを提供することがゴール。その空間で過ごすことになるお客さまのビジネスがうまくいくことまで考えなくてはいけないと思っています」

社員全員がお客さまのニーズを引き出し、面白いアイデアを提案できる営業マンでもある。それが、他ではなく和以美が選ばれる理由だ。

人の生きる環境すべての空間提案を

今後は『be Greeeeen』を通して、 グリーンを取り入れたい商業施設やオフィス、店舗などにも展開していきたいと田中さんは考える。

住宅から商業施設、オフィス空間へ。人の営みがある環境すべての空間提案へと踏み出しはじめた和以美。
全国の営業拠点や仕入れ先とのネットワークと、新しいアイデアに挑戦しつづける精神が、さらに輝くときが来たのかもしれない。
そんな和以美のこれからが楽しみだ。



和以美株式会社
東京都荒川区西日暮里 5-14-3 サンキエームビル 6F
03-3807-2111

Green&Natural Design Studio『be Greeeeen』
東京都荒川区西日暮里 5-23-8 KS ビル 1F
03-3806-0646
10:00～19:00
定休日：土曜日・日曜日・祝日

『地域景況調査』第81号発刊にあたり、ご多忙中にもかかわらずアンケート調査にご協力いただきました事業主の皆さまに厚く御礼申し上げます。今後ともぜひご愛読いただき、また内容について忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いに存じます。

城北しんきん地域景況調査　No.81

発行　2024年2月
城北信用金庫　総合企画部
〒114-8521 東京都北区豊島1-11-1
TEL：03(3913)5358
https://www.johokubank.jp/